

平成22年度横須賀三浦放射線技師会総会を開催しました

先般の震災に関わる様々な影響のため延期されておりました平成22年度横須賀三浦放射線技師会総会を、4月23日(土)、横須賀共済病院の5階講堂において開催しました。役員含め25名の会員参加がありました。

理事会推挙により横浜南共済病院の西條氏、横須賀市立うわまち病院の永塚氏が議長団に就任し総会議事が進行されました。平成22年度の各部事業報告、会計決算報告、および会計監査報告が行われ、全て承認されました。その後、平成23年度の事業計画と予算案の審議が行われ、これも全て承認されました。

平成23年度の事業計画概要は、総会当日付で入会届が受理された新入会員6名があること(4月23日付会員数148名)、本年度より理事の増員が見込めること、救急センター派遣委託技師メンバーに新規に2名が増えたことなどを受け、さらに震災後の自粛ムードを一掃し震災復興に協力しようという目標を持って、平成22年度に控えめであった本会活動を一転、服部会長の号令のもと活発に活動を進めていくこととなりました。会員、賛助会員の皆様には今後とも変わらぬご協力をお願いいたします。

総会后引き続き、NASチーム報告会として、先般の東日本大震災の福島第1原発事故発生にともなう日本放射線技師会サーバイヤー派遣隊第1陣として、本会NASチームから3名の精鋭が6日間の災害派遣に参加したことを受けまして、その報告会を行いました。現地で撮影された多くの写真が供覧された報告の中では、本会NASチームの存在意義を証明でき、また日ごろからの活動の成果が大いに発揮出来た、非常に有意義な災害派遣活動であったとの報告でした。

<文責 庶務濱田>